

教育雑誌特集記事一覧 [2014年9月号]

号 数	特 集 記 事	筆 者
教育ジャーナル	<p>特集 がんばれ！公立校！！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究を充実させて、若い教師たちを育てよう <li style="padding-left: 2em;">どんなやり方が、教師の力量向上につながるのか <p>第2特集 特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一人ひとりを見る、わかる、よさを生かす」ということ <li style="padding-left: 2em;">特別支援教育の視点で学校経営を 	<p>渡辺 研</p> <p>和田 成</p>
教育	<p>特集1 同調圧力と学校の自由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同調圧力のなかで今を生きる教師たち ・抵抗のための三つの方法ー学校の同化圧力を超える ・「増殖する自己」とジェラシーー子どもと若者の同調圧力を考える ・開き直った生き抜き方 ・教務主任として見えた教育現場の希望 ・〈座談会〉息苦しさの正体ーいま、学校はどうなっているのか <p>特集2 沖縄の子どもと基地・貧困</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄の子どもを見据えるということ ・金網を隔てた生活 ・米軍家族の子どもから見た沖縄と基地ー北谷町の砂辺区・宮城区の聞き取りから ・コザの子どもたちのいま ・基地と隣り合わせの子育てー米軍と地域をとともにすることの現実 	<p>川村 光</p> <p>山本 宏樹</p> <p>小谷 敏</p> <p>立川 明</p> <p>川谷 直樹</p> <p>小川ゆき 他</p> <p>一盛 真</p> <p>山里 賢吾</p> <p>嘉納 英明</p> <p>鈴木友一郎</p> <p>浅井 春夫</p>
道徳教育	<p>特集 特別支援教育×道徳で幸せ教室づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラビア／幸せ教室づくりのアイデア 【提案／ユニバーサルデザインで道徳授業を構想する】 ・四つの要件で楽しく「考える わかる」授業をつくる ・「ユニバーサルデザインで道徳授業を構想する」を読んで 【道徳授業での特別支援対応ー7つの心がけ】 ・落ち着きがない子への導入での心がけ ・理解が進まない子への資料提示での心がけ ・話し合いへの参加が難しい子への心がけ ・すぐに泣いてしまう子への心がけ ・書くことが苦手な子への心がけ ・聞き取りが難しい子への心がけ ・話すこと（吃音など）が難しい子への心がけ 【レポート／特別支援学校・特別支援学級の道徳授業ーポイントは“ココ”】 ・実態をとらえ、できることをしましょう！ ・かかわりをはぐくむ道徳の時間 ・個々の生徒の実態に応じた指導を行う道徳授業 【特別支援教育の視点に立ったおススメ資料】 ・小学校低学年 絵本を使った道徳授業 ・小学校中学年 誰でも努力するときは辛くて苦しい ・小学校高学年 「江戸しぐさ」を教材化した道徳授業 ・中学校 資料は子どもたちの中にすでにある 【「この力」を道徳授業×学級経営で育てるヒント】 ・「自己肯定感」を高めるヒント ・「自立した心」を高めるヒント ・「コミュニケーション力」を高めるヒント 【実践／特別な支援を要する子も大活躍の道徳授業】 ・小学校低学年 誰もが参加し、誰もが語れる授業を目指して 	<p>蕎麦田佳子 他</p> <p>坂本 哲彦</p> <p>松尾直博 他</p> <p>塚田 直樹</p> <p>尾崎 正美</p> <p>田中 博司</p> <p>増田謙太郎</p> <p>中雄 紀之</p> <p>北川 沙織</p> <p>関田 聖和</p> <p>加藤 英樹</p> <p>齋藤 大地</p> <p>相良 賢治</p> <p>大江 浩光</p> <p>五十嵐明子</p> <p>菊池 健一</p> <p>吉成 正士</p> <p>中野 学</p> <p>有坂 一郎</p> <p>齋藤 優</p> <p>福島 早苗</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校中学年 生きること・死ぬことを考える ・小学校高学年 誰もが輝くことのできる道德の時間 ・中学校 肯定的なかかわり合いがこと学級を育てる 	福永 純恵 松井 良 鈴木美音子
授業力&学級統率力	特集 スマホ時代の“友達関係”つかむワザ59 <ul style="list-style-type: none"> ・「学級の友達関係に介入する派・しない派」ーと聞かれたら ・やってみませんか？友達関係を把握する“Q-Uテスト”ー効果と期待 <ul style="list-style-type: none"> ・“Q-Uテスト”とは ・活用レポート“Q-Uテスト”を使ってみてー「教師の確かな目」を鍛えるQ-U ・活用レポート“Q-Uテスト”を使ってみて ・知らなかった!？スマホ時代の友達関係＝現状把握と対応策 <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもたちの人間関係は今」ー2つの典型事例から考える ・スマホ時代の子どもたち ・危険性のあるものの指導は「禁止」が原則。使用に関するルールが必要 ・“ちょっとした言動”から友達関係が見えてくるプロの目 <ul style="list-style-type: none"> ・“友達同士の言葉づかい”から ・“座席の位置関係”からー「座席プリント」のすすめ ・“給食の時間の様子”から ・“掃除の時間の様子”からー3つのチェックで友達関係を見取る ・“休み時間の様子”からー休み時間の子どもたちの何気ない会話からわかってくる友達関係の見え方・捉え方 ・ビギナーQA 水面下の“友達関係のトラブル”を見える化する手立てと対応 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の悪意の告げ口 ・暴力を伴ったケンカ ・貸し借りでのトラブル ・悪意のない？仲間外し ・男女間のいざこざ ・仲良しグループ同士のいざこざ ・友達に命令して悪さをさせる ・他の学校の友達とのトラブル ・友達関係の指導ー今だから話せる失敗談 <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の班編制に失敗する ・王様になっては指導できないことがある ・子どものサインを見逃すとき ・担任の言動がつくる？誤解&学級トラブル <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの呼び方 ・子どもへの話し方・しぐさ ・授業中の指名の仕方 ・子どもへの頼みごとのしぐさ ・ほめ方・叱り方 ・学級通信での子どもの取り上げ方 ・子ども同士をつなぐ“グループ活動”のメニュー <ul style="list-style-type: none"> ・【国語】国語科授業にひと工夫ー友達との関係を広げ、深める ・【社会】 ・【算数】「お助け」が子ども同士をつなぐー分からなくても恥ずかしくない学級づくり ・【理科】 ・【英語】 ・【音楽】音でつながる！音楽活動のアイデア ・【図工】子ども同士をつなぐデジタルカメラ ・【体育】仲間づくりをねらいとした体ほぐし運動メニュー5 ・クラスの一体化を体幹！“学級イベント”ネター一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年向け 日常的な指導で知的な集団の素地づくり 	椿原正和 他 武蔵 由佳 渥美 清孝 前島 康志 竹内 和雄 桐野志摩美 仲里 靖雄 小林 晴美 桜沢 修司 平山 雅一 吉松 英樹 中條 佳記 寺田真紀子 細田 俊文 斎藤 浩康 早崎 敦子 大邊 祐介 塩崎 義明 田丸 陸子 長谷川博之 吉田 高志 御前 充司 白井 一之 宇野 弘恵 金川 秀人 津下 哲也 中村 光晴 俵原 正仁 西村 健吾 関本 裕介 中楯 浩太 服部 真一 福原 正教 胡子美由紀 平野 次郎 尾池 佳子 辻岡 義介 小林 節生

	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校中学年向け ・小学校高学年向け クラスの一体化は、「学級対抗」にあり ・中学生向け 中学生の心をつなぐ楽しいイベント集 ・学級文庫に置きたい友情物語 ・小学校低学年向けの作品 ・小学校中学年向けの作品 ・小学校高学年向けの作品 ・中学生向けの作品 	坂井 清隆 戸田 正敏 山中 太 中野幸江 他 福田秀貴 他 二瓶弘行 他 古川光弘 他
児童心理	特集 「元気」のない子 ・植物的に生きる子どもたち？—多くを望まず、無理せず、群れず、動かず、心優しい子どもたち ・「やる気がないように見える子」に潜むもの—自らの可能性を閉ざしてしまう心理とは ・犬の実験から発見された「学習性無力感」の理論をめぐって ・子どもにまつわる環境・人間関係と疲れ ・「健気」に遊んで元気になる ・元気を養う食 【無力感をもちやすい人とは】 ・自己効力感をもてない人 ・自分が悪いと思ってしまう傾向にある人—原因帰属のスタイルとの関係 ・スマホ時代の友だち関係—LINEで常につながる安心感と束縛 【「元気」のない子の背景】 ・失敗を積み重ねてきた子—失敗体験を希望につなげていく ・自分が輝ける場をもたない子 ・サポートしてくれる人がいない子 ・環境に不幸を抱えている子 ・あこがれの人（ロールモデル）が見つからない子 ・子どものうつをめぐって—その診断と治療 【「元気」のない子をどう活性化するか】 ・受容的なクラスをつくる—他者に温かいクラスをつくるノウハウ ・エンターテイナーとしての担任 ・子どもの自尊心をどう高めるか ・スポーツによる心と体の活性化—視覚障害児のクライミング教室を通じて	鍋田 恭孝 外山 美樹 大芦 治 石井 久雄 杉本 厚夫 外山 紀子 石川満佐育 蔵 あすか 竹内 和雄 三浦 文隆 山崎 浩一 刀根 良典 茅野 理恵 神谷 和宏 倉本 英彦 瀧澤 洋司 須田 康之 栗原 慎二 高梨 美奈
月刊学校教育相談	特集1 夏休み明け、子どもの変化をどうとらえ、どう対応するか ・中学三年生の「心の叫び」に気づき寄り添う 受験生の過酷な夏休み ・夏休み、生徒同士の関係に一石を投じたら ・学校にとってブラックボックスの夏休み明けの子ども ・夏休みに向けた子ども、家族への支援を 特集2 指導やかかわりを子どもに無視されたとき ・「無視」を四つに分類し、対応を考える ・無視されたその場でどんな対応をとるか ・無視をめぐる教師側と生徒側の課題を押さえて対応する ・指導を無視されがちなクラスでどう取り組むか	根舛せつ子 山崎 和達 吉田 千代 多田 直子 吉田 順 神垣 幸一 越智 典子 関崎 純也
月刊生徒指導	特集 “誰”と“どこ”につながりを求めているのか 今の子どもの不登校 ・＜座談会＞今の子どもの不登校 ・なぜ学校へ行くのか ・不登校生とスマートフォン～不登校生の日常と激情～ ・元不登校の子どもたちが行きたくなる学校とは ・データで見る不登校	井口辰也 他 苫野 一徳 竹内 和雄 原 雅夫 長尾 康子
総合教育技術	特集1 すべての学校に本物の「ユニバーサルデザイン」を！ ・巻頭提言 すべての子どもたちを伸ばしていくためにパーソナルな支援と接続した本物のUDを！ 【Part 1】基本的な考え方から授業づくりまで いま求められる授業UD	上野 一彦

	<p>・特別対談 すべての子どもが、「わかる、できる」授業UDは、どうすれば実現できるか</p> <p>・授業UDのつくり方①国語 授業はねらいに即して構造化を図った上で子どもの課題に対し個別の配慮も必要</p> <p>・授業UDのつくり方②算数 考えさせたいことに仕掛けをして焦点化し視覚化によってイメージをもたせる</p> <p>【Part 2】現状・課題からシステムづくりまで いま求められる特別支援教育</p> <p>・提言① 子どもたちの連続したニーズに対応し得る授業改善や体制づくりが必要</p> <p>・提言② オリジナルな発達をした子たちと捉えひとりひとりの困り感に目を向ける</p> <p>・地区別座談会 自治体の明確な方針と支援姿勢の上で授業を中核に据えて研究を深めていく</p> <p>【Part 3】本物の「ユニバーサルデザイン」はこうして実現 管理職がすべきこと、現場教師がすべきこと</p> <p>・提言① 学校の実態に合わせたUDを模索することがコラボレーション力や多様性への寛容を育む</p> <p>・提言② 授業UDと特別支援教育をつないだ学校改革は、どうすれば可能になるのか</p> <p>特集2 新・教育委員会制度に学校はどう向き合うべきか？</p> <p>・概要と課題 首長の教育行政への関与が強化 新制度で教育委員会はこう変わる</p> <p>・識者インタビュー① 地方分権とは反対の方向の改革だが“地方ムラ”を壊す契機にもできる</p> <p>・識者インタビュー② 予測不能な要素を増やした新制度 首長次第で想定外の影響が出る恐れも</p> <p>・匿名座談会 新・教育委員会制度で現場はどうなる？ 管理職のギモンと不安</p> <p>特集3 LINE、スマホ対策最前線</p> <p>・「LINE外し」等を生み出しているグループトークのしくみを知ろう</p> <p>・悪ふざけ、既読無視、依存……。LINEで今、何が起きているのか</p> <p>・学校がすべきなのはLINEの批判ではなくコミュニケーションのしかたを教えること</p> <p>・自分と友だちの考え方の違いに気づき、楽しいコミュニケーションの方法を考える</p>	<p>小貫悟×磯部年晃 桂 聖 伊藤 幹哲 柘植 雅義 阿部 利彦 石塚謙二 他 川上 康則 加地 健 村上 祐介 遠藤 美季 塩田 真吾 柏市立中原小学校</p>
<p>実践障害児教育</p>	<p>特集 8割が改善！ 自己理解と自己決定による本人参加の不登校改善策</p> <p>・【総論】これからは、予防的・介入的施策による抜本的な不登校対策へ</p> <p>・【事例1】中学校2年生男子 教室復帰に向けた計画の変更を自己決定することで自信をもって行動できた</p> <p>・【事例2】中学校2年生女子 改善会議の中で、教科学習・持続力・対人関係が必要であることを認識して学校復帰</p> <p>・【事例3】中学校2年生男子 「29日欠席は、不登校でない」として、その後、一日も休まないと言い決意して登校</p> <p>・【事例4】小学校5年生男子 朝1時間早く起きることにより、生活リズムを改善し、登校することができた</p>	<p>三浦 光哉 三浦 光哉 三浦 光哉 三浦 光哉 三浦 光哉</p>
<p>月刊教職研修</p>	<p>特集1 「教頭」を救え！</p> <p>ー激務、なり手減少に一刻の猶予なし</p> <p>・教頭はどんな苦境に立たされているのか</p> <p>・教頭の「専門性」とは何かーなぜ、学校に教頭がいるのか</p> <p>・本当にやるべき仕事の時間を確保する教頭のタイムマネジメント術</p> <p>・教頭自身のストレスマネジメント</p> <p>・教頭を取り巻く制度を見直そう</p> <p>・校長として教頭をどうフォローすべきか</p> <p>・教頭としての誇りを</p> <p>特集2 学校タブレット入門</p> <p>ー授業は、学校はどう変わるのか</p> <p>・いま、タブレット授業はどれくらい広がっているのか</p> <p>・タブレットを使ってどのような授業が行われているのか</p> <p>・特別な支援が必要な子どもにこそタブレットを</p> <p>・タブレット教育で教員に求められる役割とは</p> <p>・タブレットFAQ（よくある質問）</p>	<p>勝野 正章 和田 俊彦 田中 和彦 蓮沼 千秋 勝野 正章 株本 光子 米満 裕 林 向達 野中 陽一 金森 克浩 伊藤 一成 山西 潤一</p>
<p>初等教育資料</p>	<p>特集I 課題を解決する学習過程の工夫</p> <p>・【解説】課題を解決する学習過程の工夫</p> <p>・【論説・事例①国語】子供にとっての課題解決の過程となる単元を貫く言語活動の設定</p> <p>・【論説・事例②社会】単元を通じた課題解決的な学習の学習過程の工夫</p> <p>・【論説・事例③算数】学習過程を工夫する必要性と工夫の例</p> <p>・【論説・事例④理科】体験と言語で織りなす問題解決の展開</p> <p>・【論説・事例⑤生活】探究を支える子供の知的好奇心</p> <p>・【論説・事例⑥音楽】課題を解決する学習過程を工夫する五つのポイント</p>	<p>文部科学省教育課程課 水戸部修治 澤井 陽介 笠井 健一 村山 哲哉 田村 学 津田 正之</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・[論説・事例⑦図画工作] 子供が主体的に課題を見付け、活動に取り組む学習過程の工夫 ・[論説・事例⑧家庭] 題材における問題解決的な学習の学習過程の工夫 ・[論説・事例⑨体育] 運動領域と保健領域の課題解決の例 ・[論説・事例⑩道徳] 道徳の時間における問題解決の考え方 ・[論説・事例⑪外国語活動] コミュニケーション能力の素地を育む学習過程の工夫 ・[論説・事例⑫総合的な学習の時間] 探究的な学習こそが求められている ・[論説・事例⑬特別活動] 学級活動における問題(課題) 解決的な活動過程の工夫 <p>特集Ⅱ 学習指導要領における指導のポイント[理科]</p> <p>ー実生活との関連を図る理科授業の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[論説1]実生活に着目しながら、科学を学ぶ意義や有用性の実感を図る理科教育の創造 ・[論説2]実生活との関連を図る理科授業の展開 ・[事例1] 「比較」しながら追究する力の育成と実生活との関連を図る理科授業(第3学年) ・[事例2] 「関係付け」しながら追究する力の育成と実生活との関連を図る理科授業(第4学年) ・[事例3] 「条件制御」しながら追究する力の育成と実生活との関連を図る理科授業(第5学年) ・[事例4] 「推論」しながら追究する力の育成と実生活との関連を図る理科授業(第6学年) 	<p>岡田 京子 筒井 恭子 高田彬成・森良一 赤堀 博行 直山木綿子 田村 学 杉田 洋</p> <p>村山 哲哉 吉田 淳 入江亜矢子 小倉 朋也 岩本 哲也 成田 恵</p>
特別支援教育研究	<p>特集 子どもの「見え方」のつまずきを理解し、支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚発達支援の概要と教育的な配慮等について ・「見る力」とは? 特別支援教育に求められるビジョンケア ・知的障害のある児童生徒の「見る力」を高めて、見て、主体的に活動するための授業実践 ・弱視児の学習における支援について ・小学校での実践「ビジョントレーニング」 ・視覚発達支援センターの取り組み ・子どもの見え方に目を向けてみよう 	<p>佐島 毅 奥村 智人 世良知佳子 青木 香織 井阪 幸恵 築田 明教</p>
中等教育資料	<p>特集 中学校学習指導要領実施上の課題とその改善 ④<道徳, 総合的な学習の時間, 特別活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校学習指導要領実施上の課題とその改善(道徳) ・長期展望での道徳教育の推進(道徳) ・中学校学習指導要領実施上の課題とその改善(総合的な学習の時間) ・地域とらっきょうを全国にPR! ~総合的な学習の時間の取組を通して~ ・中学校学習指導要領実施上の課題とその改善(特別活動) ・中学校学習指導要領実施上の課題を踏まえた授業改善の具体例(特別活動) 	<p>毛内 嘉威 城陽市立北城陽中学校</p> <p>野口 徹 鳥取市立福部中学校</p> <p>猿渡 正利 武蔵村山市立第一中学校</p>
兵庫教育	<p>特集 ふるさと再発見!</p> <p>ー地域に根ざした文化に触れるー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統と文化に関する教育ー地域の自然との関係 ・兵庫運河・真珠貝プロジェクトに参加して~小学校3年生の環境体験学習~ ・林田中歴史ボランティアガイドジュニアによる地域おこし ~地域と連携し、郷土の歴史や伝統、文化に触れる機会を充実させた実践~ ・文化の伝承・ふるさと再発見~地域との共生と生徒の育成~ ・ふるさとの伝統文化を生かした教育実践について~赤穂緞通を取り入れた特色ある取り組み~ 	<p>今後 元彦 神戸市立和田岬小学校 姫路市立林田中学校</p> <p>兵庫県立浜坂高等学校 兵庫県立赤穂特別支援学校</p>
教育委員会月報	<p>特集 教員免許更新制度の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許更新制度の改善に向けてー検討会議の審議状況 ・教員免許更新制度の改善について(報告)の概要 ・資料1 教員免許更新制度の改善について(報告)のポイント ・資料2 免許状更新講習規則第四条第二項に規定する事項の詳細な内容及び同令第六条に規定する修了認定の基準を定める告示(平成二十年文部科学省告示第五十号) ・資料3 免許更新講習の事後評価結果について ・資料4 教育職員免許法改正(平成19年法律第98号)に関する附帯決議 ・資料5 失効者数等の推移(第1グループ~第3グループ) 	<p>小川 正人 教職員課</p>